

# 第2回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 次 第

日 時： 令和3年6月1日(火)11:00～11:45

会 場： 福井県庁 10階総合防災センター  
近畿地整 7階災害対策室

I. 開 会

II. 挨拶

III. 議 題

1. 事業の進捗状況等

IV. 閉 会

第2回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議  
出席者名簿

[敬称略]

福井県	土木部長	西出 俊亮
	道路建設課長	平林 透
	高規格道路課長	貴田 勝太郎
近畿地方整備局	道路部長	植田 雅俊
	福井河川国道事務所長	宮本 久仁彦

## 第2回

# 中部縦貫自動車道事業費等監理会議資料

令和3年6月1日

福井河川国道事務所

## 目次

- I. 大野油坂道路事業の概要
- II. 令和3年度実施内容
- III. 今後の見通し

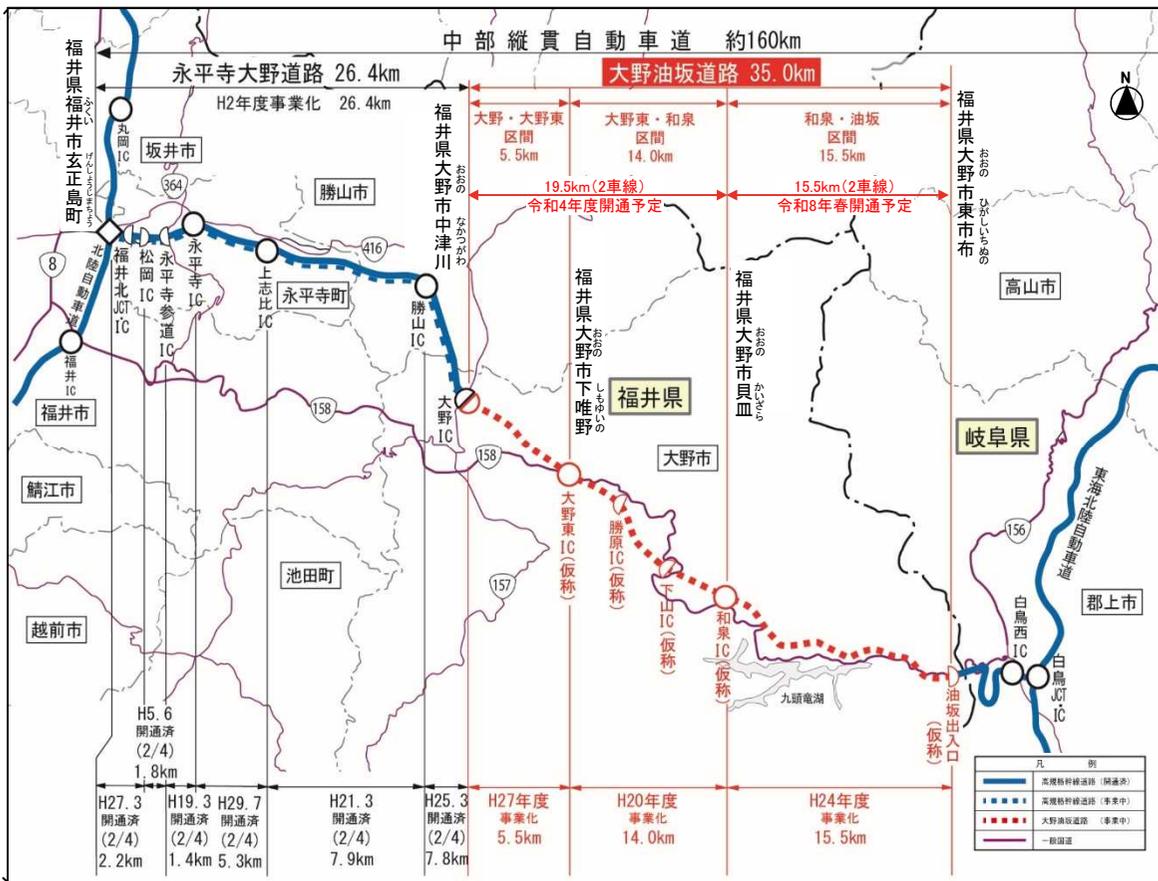
# 1. 大野油坂道路事業の概要

# 1. 大野油坂道路事業の概要

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

「大野油坂道路」は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、異常気象時の交通の確保を目的とした自動車専用道路です。

位置図



広域図



# 1. 大野油坂道路事業の概要

## 事業の目的

- 高速道路ネットワークの形成
- 災害時の代替路の確保
- 異常気象時の交通の確保

## 事業の概要・進捗状況



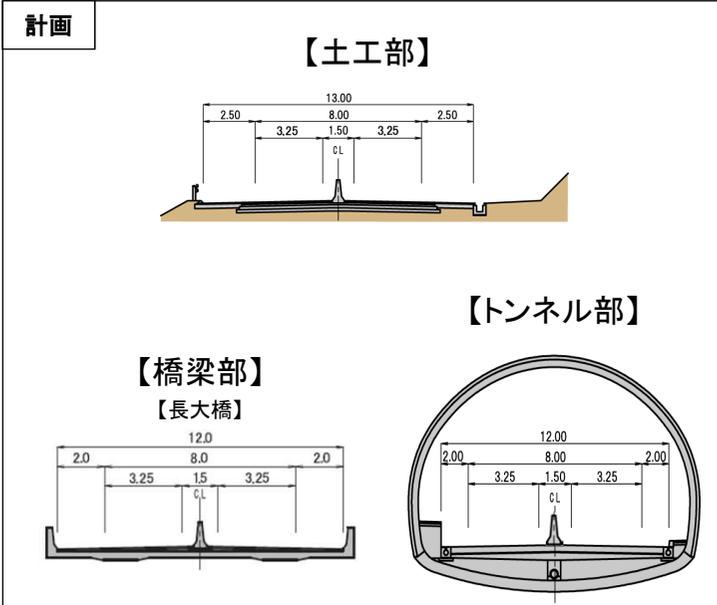
## 平面図



区 間	大野油坂道路 【大野・大野東区間】 (起) 福井県大野市 中津川 (終) 福井県大野市 下唯野	大野油坂道路 【大野東・和泉区間】 (起) 福井県大野市 下唯野 (終) 福井県大野市 負血	大野油坂道路 【和泉・油坂区間】 (起) 福井県大野市 負血 (終) 福井県大野市 東市布
道路延長	5.5km	14.0km	15.5km
構造規格	第1種4級	第1種4級	第1種4級
設計速度	60km/h	60km/h	60km/h
車線数	2車線	2車線	2車線
標準幅員	13.0m	13.0m	13.0m
計画交通量	9,100台/日	9,600台/日	8,400台/日
全体事業費	約243億円	約948億円	約1,119億円
事業化	平成27年度	平成20年度	平成24年度
都市計画決定	-	-	-
用地着手	平成30年度	平成24年度	平成26年度
工事着手	令和元年度	平成26年度	平成29年度
開通延長	-	-	-
事業進捗率 (令和3年3月末現在)	約38%	約69%	約31%
用地取得率 (令和3年3月末現在)	100%(面積ベース)	100%(面積ベース)	100%(面積ベース)

## 標準断面図

[単位: m]



## II. 令和3年度実施内容

## II. 令和3年度実施内容

令和3年度当初 福井県における事業計画(道路関係〔直轄〕)より抜粋  
 改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						計	地方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳									
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道158号	大野油坂道路 (大野・大野東区間)	L=5.5km	243	3,636,000	208,000	926,000	30,000	0	0	4,800,000	1,238,400	・調査推進: 調査設計 ・用地推進: 堂本地区ほか用地国債再取得 堂本地区ほか公共移設補償 ・工事推進: 堂本地区ほか改良工事 真名川橋ほか上下部工事	用地進捗率:100% 事業進捗率:約38%  大野IC～(仮称)大野東IC L=5.5km(2/2) 令和4年度開通予定 <残事業費> 令和4年度以降:約100億円
国道158号	大野油坂道路 (大野東・和泉区間)	L=14.0km	948	13,852,000	625,000	43,000	80,000	0	0	14,600,000	3,766,800	・調査推進: 調査設計 ・用地推進: 勝原地区公共移設補償 ・工事推進: 西勝原地区改良工事 荒島第2ほかトンネル工事 荒島第1ほかトンネル舗装工事 荒島第1ほかトンネル設備工事	用地進捗率:100% 事業進捗率:約69%  (仮称)大野東IC～(仮称)和泉IC L=14.0km(2/2) 令和4年度開通予定 <残事業費> 令和4年度以降:約140億円
国道158号	大野油坂道路 (和泉・油坂区間)	L=15.5km	1,119	13,776,000	552,000	52,000	70,000	0	0	14,450,000	3,728,100	・調査推進: 調査設計 ・用地推進: 箱ヶ瀬地区ほか用地国債再取得 川合地区公共移設補償 ・工事推進: 東市布地区改良工事 新子馬巢谷橋下部工事 大谷ほかトンネル工事	用地進捗率:100% 事業進捗率:約31%  (仮称)和泉C～(仮称)油坂出入口 L=15.5km(2/2) 令和8年春開通予定 <残事業費> 令和4年度以降:約620億円

## II. 令和3年度実施内容

### ■大野油坂道路

令和3年度は、約339億円をもって、以下の内容を実施します。

#### ■ 用地及び補償費 約 11億円

・大野油坂道路事業建設に必要な土地等の用地国債の再取得、公共移設補償などを継続して実施します。

#### ■ 工事費 約 314億円

・大野・大野東区間については、堂本地区ほか改良工事、真名川橋ほか上下部工事等を実施します。

・大野東・和泉区間については、荒島第2トンネル等(4/4本)を推進するとともに、西勝原地区改良工事等を実施します。

・和泉・油坂区間については、大谷トンネル等(5/6本)を推進するとともに、東市布地区改良工事、新子馬巢谷橋下部工事等を実施します。

#### ■ 測量設計費等 約 14億円

・環境調査、水文調査を継続して実施します。

# II. 事業の進捗状況

## ①事業進捗

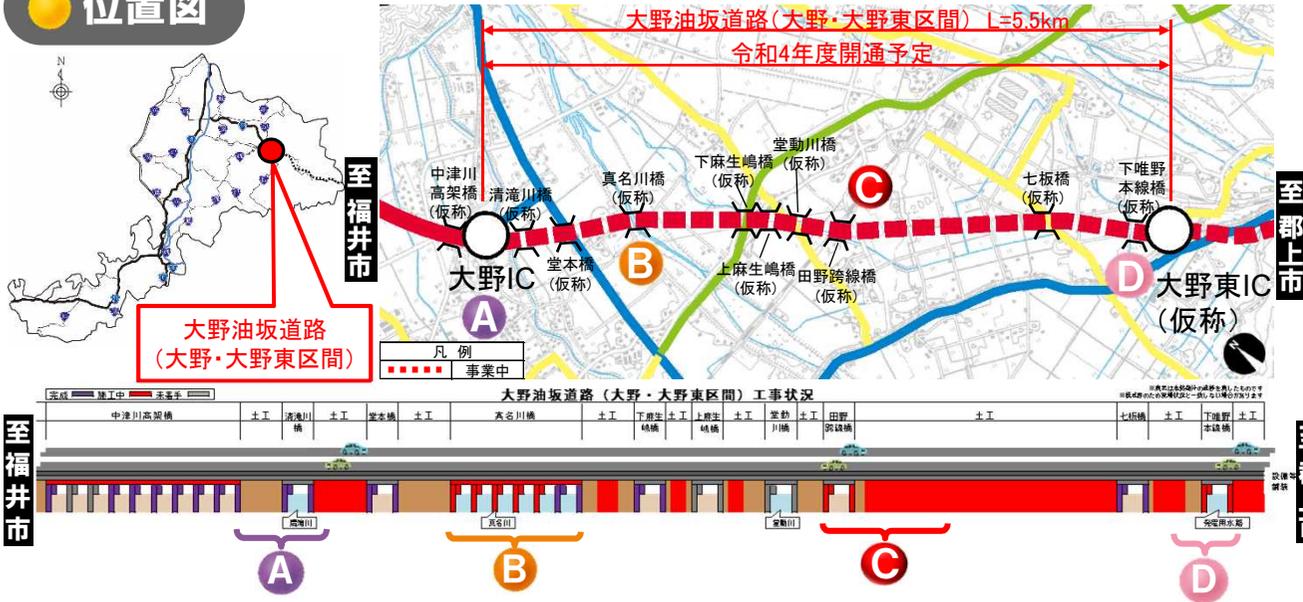


		大野・大野東 5.5km	大野東・和泉 14.0km	和泉・油坂区間 15.5km
構造物	全体	橋梁10本	トンネル4本、橋梁5本	トンネル6本、橋梁20本
	着手済	橋梁8本	トンネル4本、橋梁5本	トンネル5本、橋梁12本
事業進捗率		約38%	約69%	約31%

【R3.3末現在】

おおのあぶらさか おおの おおのひがし  
**令和3年4月末 大野油坂道路（大野・大野東区間）**  
**橋梁および改良工事を推進しています。**

**位置図**



しもゆいの  
**D 下唯野地区**

下唯野本線橋の下部工事を行っています。



なかつがわ  
**A 中津川地区**

大野ICの状況です。



しもあそうじま  
**B 下麻生嶋地区**

真名川橋の下部工事を行っています。



たの  
**C 田野地区**

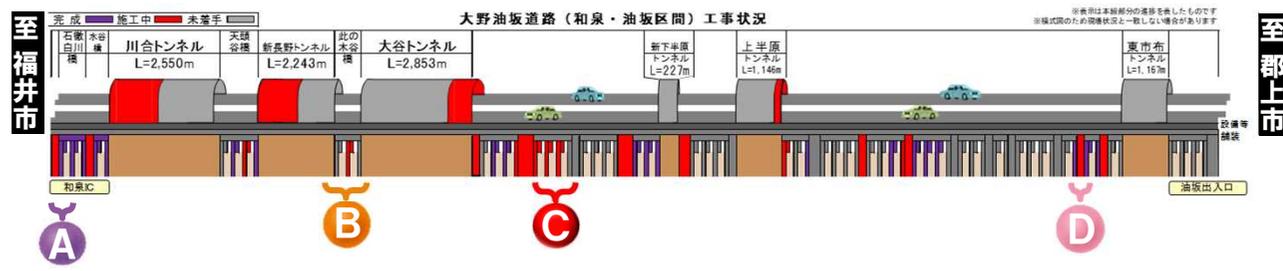
田野跨線橋の下部工事を行っています。





おおの あぶらさか いずみ あぶらさか  
**令和3年4月末 大野油坂道路（和泉・油坂区間）**  
**トンネル、橋梁および改良工事を推進しています。**

**位置図**



ひがしいちめの  
**D 東市布地区**



かいざら  
**A 貝皿地区**



のじり  
**B 野尻地区**



はこがせ  
**C 箱ヶ瀬地区**



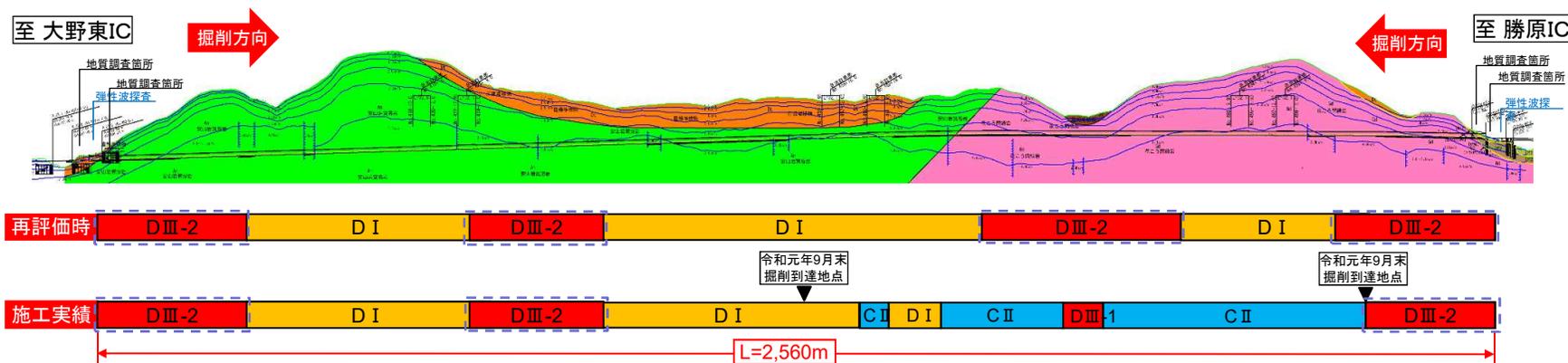
## II. 大野油坂道路（大野東・和泉区間）のトンネル進捗状況

- 荒島第1トンネルは平成29年10月より掘削を開始し、令和2年12月21日に完了。
- 再評価の時点（令和元年11月）と比較して、支保パターンが一部軽減された。

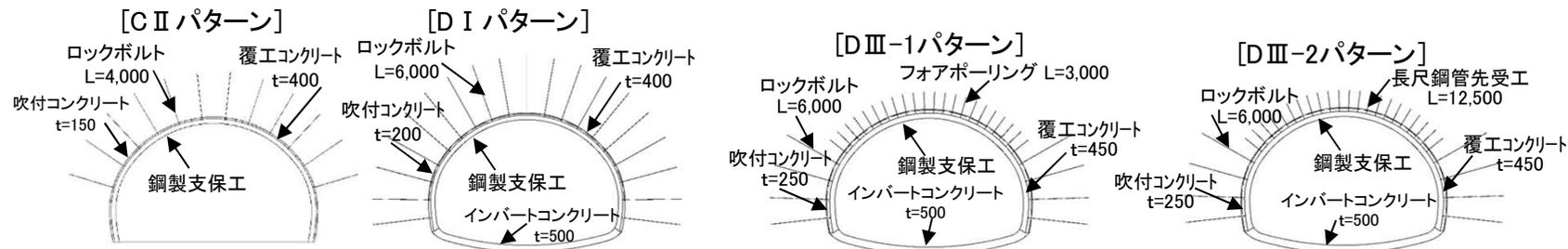
### ■ 荒島第1トンネル地質縦断図

地質凡例	花崗閃緑岩	崖錐堆積物
	安山岩質溶岩	

地山等級凡例	C I	C II	D I
	D III	補助工法	



### ■ 断面図

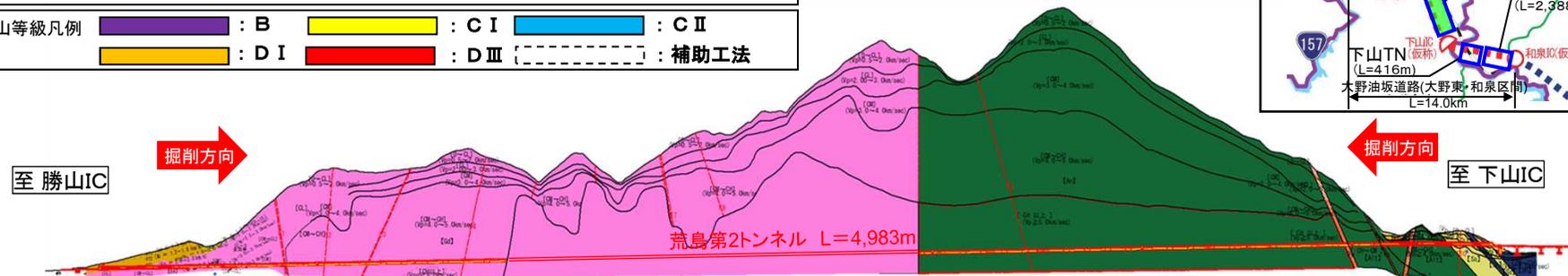


## II. 大野油坂道路（大野東・和泉区間）のトンネル進捗状況

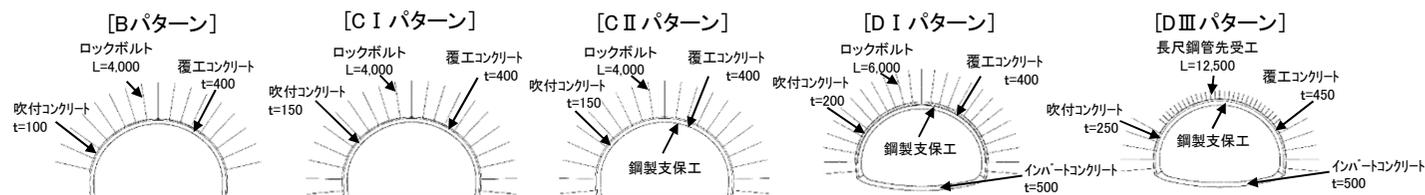
- 荒島第2トンネルは平成30年11月より掘削を開始。
- トンネル延長4,983mのうち、2,890m(約58%)の掘削が完了。【令和3年4月末現在】
- 再評価の時点(令和元年11月)と比較して、一部区間で突発湧水による水抜きボーリング等対策が必要となり、支保パターンが加重されたもののトンネル全体では事業費に大きな変化はない。

### ■ 荒島第2トンネル地質縦断面図

地質凡例	岩塊・玉石質礫質土	花崗閃緑岩	荒島岳火山岩類
	砂岩優勢層	ひん岩	
地山等級凡例	: B	: C I	: C II
	: D I	: D III	: 補助工法



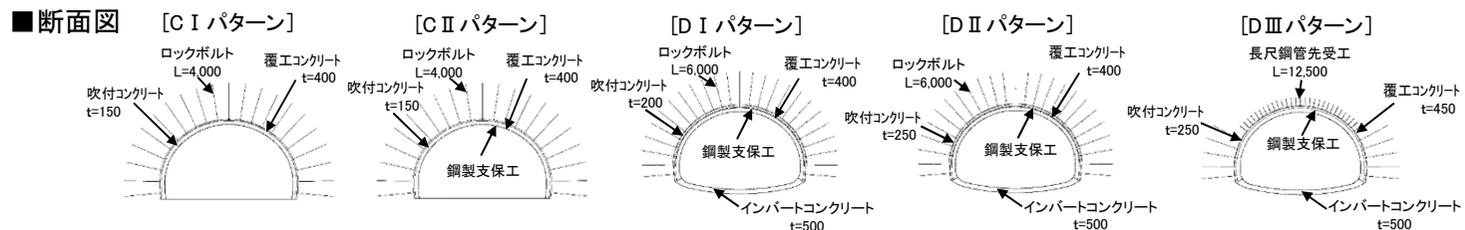
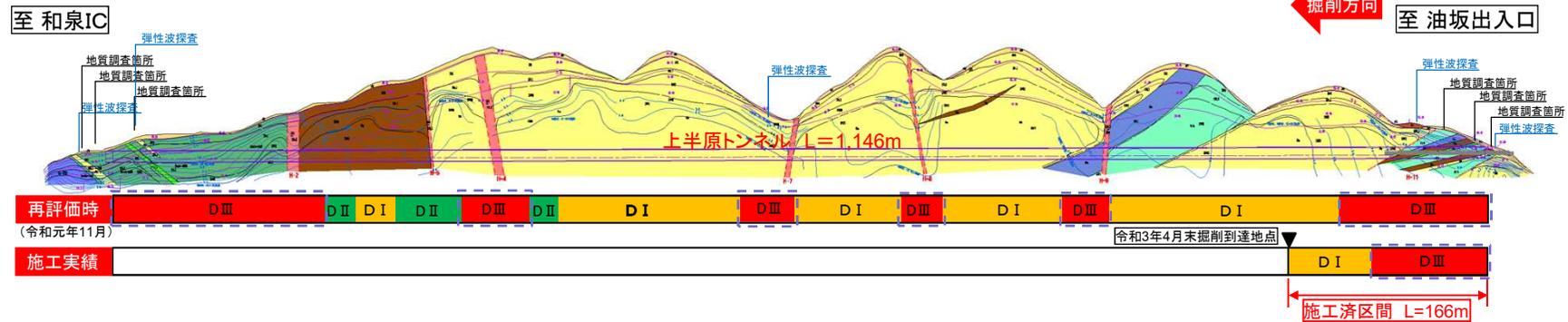
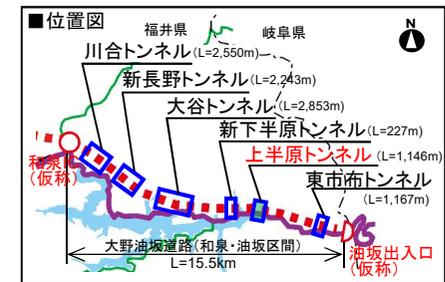
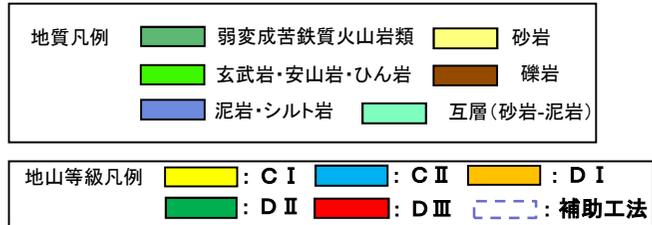
### ■ 断面図



## II. 大野油坂道路（和泉・油坂区間）のトンネル進捗状況

- 上半原トンネルは、令和2年12月より掘削を開始。
- トンネル延長1,146mのうち、166m(約14%)の掘削が完了。【令和3年4月末現在】
- 現時点で再評価の時点(令和元年11月)と比較して、支保パターンが同程度で大きな状況の変化はない。

### ■ 上半原トンネル地質縦断図



## II. 今後の事業費監理について

### ■ 主な事業費増加要因の施工状況に応じた確認

- 地質状況や支持層の位置等、事業費増の要因となる情報や工事の進捗状況等について、事業費等監理会議で情報共有



再評価時(令和元年11月)の想定と異なる事象が確認された場合は、その都度速やかに情報共有

### ■ 事前にリスクを想定できない事象が生じた場合の対応

＜事前に想定できないリスク＞

- ・ 豪雨、洪水、地震等の自然災害に起因し工事目的物等に損害が生じた場合の対策
- ・ トンネル掘削中にヒ素などの自然由来重金属が出てきた場合の土壌汚染対策法に基づく処分
- ・ 急激な物価上昇など、事前にリスクを想定できない事象の発生 など



その都度速やかに情報共有

### Ⅲ. 今後の見通し

## Ⅲ. 今後の見通し

### 1) 今後のスケジュール等

- 大野油坂道路(大野<sup>おおの</sup>～和泉<sup>いずみ</sup>(仮称))延長19.5kmについては、令和4年度開通に向けて事業を推進していきます。
- 大野油坂道路(和泉<sup>いずみ</sup>(仮称)～油坂出入口<sup>あぶらさか</sup>)延長15.5kmについては、令和8年春開通に向けて事業を推進していきます。

### 2) コスト縮減

- これまでトンネルの水路構造の変更などのコスト縮減に努めてきており、今後も技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

## 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 規約

(名称)

## 第1条

本会は、中部縦貫自動車道事業費等監理会議（以下「会議」という）と称する。

(設置)

## 第2条

会議は、近畿地方整備局福井河川国道事務所長が設置する。

(目的)

## 第3条

会議は、大野油坂道路事業の事業費等を適正に監理するため、関係機関間で事業進捗状況、今後の見通し及び事業費等について情報共有を図ることを目的とする。

(会議)

## 第4条

会議の構成員は、別紙のとおり構成する。なお、必要に応じ、構成員以外のものを会議に出席させることができる。

(会議の公開)

## 第5条

会議は非公開とするが、その結果については公表する。

(事務局)

## 第6条

会議の事務局は、近畿地方整備局福井河川国道事務所に置く。

(開催時期)

## 第7条

会議の開催は原則年1回開催とするが、必要に応じて随時開催する。

(雑則)

## 第8条

この規約に定めのない事項または疑義が生じた事項については、必要に応じて協議の上、対応するものとする。

## 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 名簿

所 属		職 名
福井県	土木部	部長
	道路建設課	課長
	高規格道路課	課長
近畿地方 整備局	道路部	部長
	福井河川国道事務所	事務所長